



保健だより

Health information

毎日を、元気で明るく過ごせるように

健康診査の申し込みを

健康診査の申し込みが始まります

23年度の町特定健康診査、各種がん検診や結核検診は、6月20日から7月13日までの土日を除く18日間にわたって実施されます。

町では、受診者の数を把握し、総合健診を実施する時の地区の割り当てを決めるため、皆さんに各種健康診査の申し込みをお願いします。4月15日以降、保健協力員さんが各世帯に「各種検診申し込み調査票」を配布します。各世帯で対象になる20歳以上の女性と35歳以上の男性は、それぞれ各検診の申し込みの欄に記入をお願いします。


【記入例】

・「勤め先」

勤め先で特定健康診査同様に、ほかのがん検診などを実施している場合・「病院で受ける」

何らかの治療のため、通院中もしくは継続して

平成23年度 各種検診申し込み調査票

※ 調査対象者は、20歳以上の女性、35歳以上の男性です。 また、  になっている場合は、今年度対象外の検診です。 ※ この調査をもとに各種検診票をお送りしますので、正確に記入してください。 ※ 各検診欄の1～5の中から1つを選んで○印をつけてください。(喀痰検診は1か2) ※ 記入もれの場合は町の検診の対象者として検診票をお送りします。 ※ 受診者の検診料一部負担があります。		猪苗代町役場 保健福祉課 健康づくり	
行政区		840001	
世帯主名		健康 太郎	
住 所		猪苗代町城南100番地	

受診者負担金	500円	200円	200円	500円	集団: 500円 病院: 1,000円	30～39歳: 1,000円 40～49歳: 1,500円 50～79歳: 1,000円	4
氏名	胃がん(バリウム)検診 対象者: 35歳以上 ※手術した方は町の検診の対象者とはなりません	大腸がん検診 (便潜血検査) 対象者: 40歳以上	胸部レントゲン 対象者: 40歳以上	喀痰検診 対象者: 50歳以上で 喫煙指数が600以上の方に 容器をお送りします	子宮がん検診 対象者: 20歳から79歳の女性	乳がん検診 対象者: 30歳から79歳の 前年検診を受けなかった女性	前立腺 (血)
1. 町の検診	1. 町の検診	1. 町の検診	1. 吸う(過去吸っていた) 1日の本数()本 ×喫煙年数()年 =喫煙指数()	1. 町の検診(集団・病院)	1. 町の検診	1. 町の検診	1. 町の検診
2. 勤め先	2. 勤め先	2. 勤め先	2. 勤め先	2. 勤め先	2. 勤め先	2. 勤め先	2. 勤め先
3. 病院で受ける	3. 病院で受ける	3. 病院で受ける	3. 病院で受ける	3. 個人で病院で受ける	3. 個人で病院で受ける	3. 個人で病院で受ける	3. 個人で病院で受ける
4. 不在	4. 不在	4. 不在	4. 不在	4. 不在	4. 不在	4. 不在	4. 不在
5. 受けない	5. 受けない	5. 受けない	5. 受けない	2. 吸わない	5. 受けない	5. 受けない	5. 受けない

【記入例】 各種検診申し込み調査票の一部

薬を処方されている人や、長期入院・入所中の人や、長期出張中の人

以前受けたまま、しばらく受けていないという人は、ぜひ「町の検診」に○をつけましょう。

皆さんの記入に基づき、6月上旬にそれぞれの健診票や容器などをお配りします。各項目もれなく記入し、4月26日までに、保健協力員さんに届けてください。わかりにくい点や不明な点などがありましたら、保健協力員さんや役場保健師に問い合わせてください。

※これまでは、年に1度どこかの健診機関で健康診査やそれに相当する検査を受けた人や治療中の人は、町で実施する健診は受けなくてもよいとされてきました。しかし、20年からは、40歳以上74歳までの人は全員、自分の加入している保険者が

実施する特定健康診査を受けることになっていきます(治療中の人も含む)。

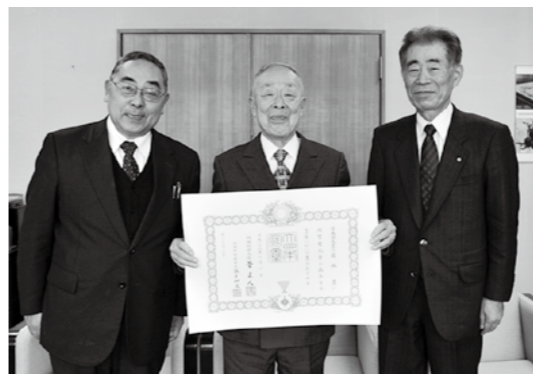
社会保険などの被保険者は、それぞれ加入している保険者に問い合わせ、ぜひ受診するようにお願いします。ただし、社会保険の被扶養者は、保険者が発行する「受診券」があれば、町で実施する総合健診を受けられます(ただし、社会保険によりません)。

町の特定健診では、疾病の早期発見・早期治療のために、これまで医師の判断が必要とされた詳細健診の「心電図・貧血・眼底」検査とクレアチニン検査を全員に実施します。町内在住の社会保険被扶養者で、受診券で町の健診を受ける人は、これらの検査を受けることができますので、早めにご手続きをお願いします。

▼問い合わせ先
保健福祉課 健康づくり業務 ☎(62)2115

菊地 豊さんに勲記を伝達

教育者人生をたたえて瑞宝双光章



左から土屋重憲教育長、菊地さん、津金町長

菊地豊さん(半坂)への叙位・叙勲伝達式は2月25日、町役場で挙行され、津金要雄町長から菊地さんに内閣総理大臣名の勲記が伝達されました。菊地さんは、昭和25年に教員として勤務、以来33年にわたり教育者として子どもたちの健全育成に努めました。今回の受章はその功績が認められたものです。

津金町長が「受章は先生の努力の成果。これからも本町の教育行政に寄与していただきたい」とあいさつ。菊地さんは「素晴らしい賞をいただいたのは、皆さまのご指導とご鞭撻のおかげ」とお礼の言葉を述べました。

地域の安全は俺たちが守る

町消防団辞令交付式が開催される



土屋団長から辞令を受け取る鈴木吉信第2分団長

町消防団の辞令交付式は4月3日、役場正庁で開催され、198人の消防団員に辞令が交付されました。

土屋孝彦団長が「このたびの東日本大震災では、多くの消防団員が被災地で頑張っている。皆さんも常日ごろから消防団員はどうあるべきかを考えながら行動してほしい」とあいさつし、各分団の代表者に辞令を手渡しました。

新入団員を代表し、黒澤裕人さん(第1分団)が「良心に従って消防の義務を遂行する」と宣誓、土屋団長から消防団の法被を受け取りました。

町民の皆さんの新しい足に

町乗合タクシーの運行がスタート



見送りを受けながら市沢行きの第1便が出発しました

町乗合タクシー出発式は4月4日、町役場で催されました。

津金町長が「このタクシーの運行で、交通の便が悪い地区の皆さんが安心して生活できるようにしたい」、磐梯観光タクシー(株)の赤埴良一代表取締役が「1人でも多くの皆さんに乗っていただけるよう、3社で協力していく」とあいさつしました。

最初の乗客となった市沢地区の笠井ヨシイさんと黒澤善助さんは「今まではタクシーや町民バスを使っていたが、10分の1の値段で使えるのはありがたい。毎週1回くらいは町に行くので、これからも利用したい」と話しました。